

理系の面白さ知って

女子高生向けに研究紹介

東北大



東谷さん(右)の話に耳を傾ける女子高生ら

東北大理・工・農学部 進室が企画した。

大学院博士課程を修了した女性のポストドクター(ポストドク)が、女子高生に研究の面白さや苦労を語る昼食会が7月28日、仙台市青葉区の東北大理学部で開かれた。

多くの女子高生に科学への興味を持つてもらい、将来、理系の女性研究者を増やそうと、東北大女性研究者育成支援推進室が企画した。

講演者の1人、大学院理学研究科天文学専攻の東谷千比呂さん(34)は、天文学者には観測以外にも理論やシミュレーションに取り組む人がいることを紹介。「何が得意かよりも、やりたいことを見つけることが大切」とアドバイスした。

星や宇宙の分野に興味があるという盛岡三高1

部の女性の割合は35・

3%に達するが、理学部は14・7%、工学部は9・7%にとどまっている。

.....

.....

.....

.....

.....

.....